

伊勢原市

内水ハザードマップ

内水から命を守る行動をとるために

市では内水ハザードマップの他に『洪水・土砂災害ハザードマップ』を公開しておりますので、合わせてご確認ください。

お問い合わせ先 〒259-1138 伊勢原市神戸 120 番地
土木部下水道経営課
TEL：0463-92-3341 FAX：0463-95-0981
令和 4 年 3 月 伊勢原市

伊勢原市公式イメージキャラクター
クルリン

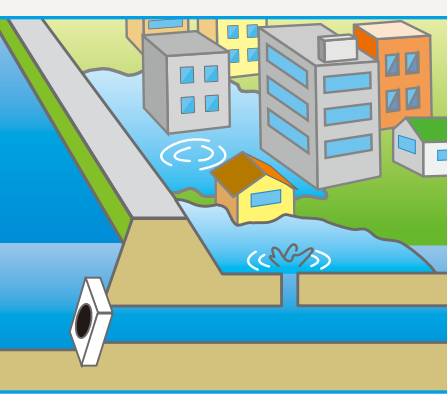
内水ハザードマップ

内水ハザードマップとは、大雨時に想定される下水道や水路に起因した浸水範囲や浸水深の情報をまとめたマップです。住民の皆様には内水ハザードマップをご確認いただくことで、下水道や水路からの浸水に対する備えを万全にし、災害発生時に被害を最小限にすることを目的としています。

内水氾濫と外水氾濫（洪水）の違い

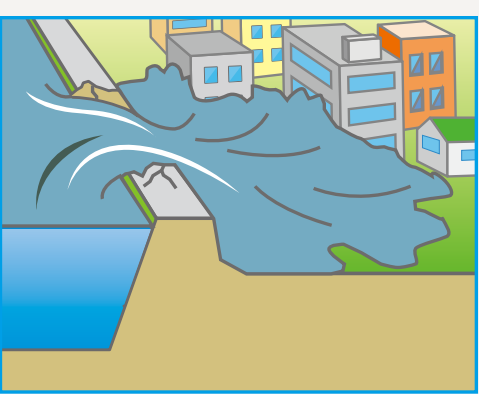
内水氾濫

その場所に降った雨水が、道路側溝や下水道、水路等では処理しきれなくなったときや、川の水位が高くなり雨水を排水できなくなったときに、マンホールや雨水ます等からあふれてしまう現象です。過去に浸水のあった箇所は特に注意しましょう。



外水氾濫（洪水）

大雨で川の水量が増え、水かさが増えて堤防を越えたり、堤防を決壊させて川の水が外に流れ出てしまう現象です。氾濫が起こると急激に水位が上がるため最大の注意が必要です。



雨の強さと降り方

降っている雨を観察することで、大体の雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるよう、雨の降り方とその状況を知っておきましょう。

1時間雨量 (mm)	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
	10 以上～ 20 未満	20 以上～ 30 未満	30 以上～ 50 未満	50 以上～ 80 未満	80 以上～
状 況	●ザーザーと降る。 ●地面からの跳ね返りで足元がぬれる。 ●雨の音で話し声が良く聞き取れない。 	●どしゃ降り。 ●傘をささずともぬれる。 ●ワイパーを速くしても見づらい。 	●バケツをひっくり返したように降る。 ●道路が川のようになる。 	●滝のように降る。 （ゴーゴーと降り続く） ●傘は全く役に立たなくなる。 ●車の運転は危険。 	●思わしくなるような圧迫感がある。 ●恐怖を感じる。

風水害時のわが家の避難行動

家族でハザードマップを使って、避難所・避難経路等を確認し、「わが家の避難行動」について話し合い、必要項目を記入・コピーして共有しましょう。

■わが家の連絡先、避難の際に必要な情報を記載しましょう。

名 前	電話番号	必要事項(常備薬等)	避難の際、支援してくれる人
			名前:
			電話:
			住所:

■ハザードマップを見て自宅周辺を確認

自宅が浸水想定区域内にある場合、 最大浸水深は： m	自宅は土砂災害特別警戒区域内にあるか ☐ ある ☐ ない
	自宅は土砂災害警戒区域内にあるか ☐ ある ☐ ない

■避難するタイミング、避難する場所

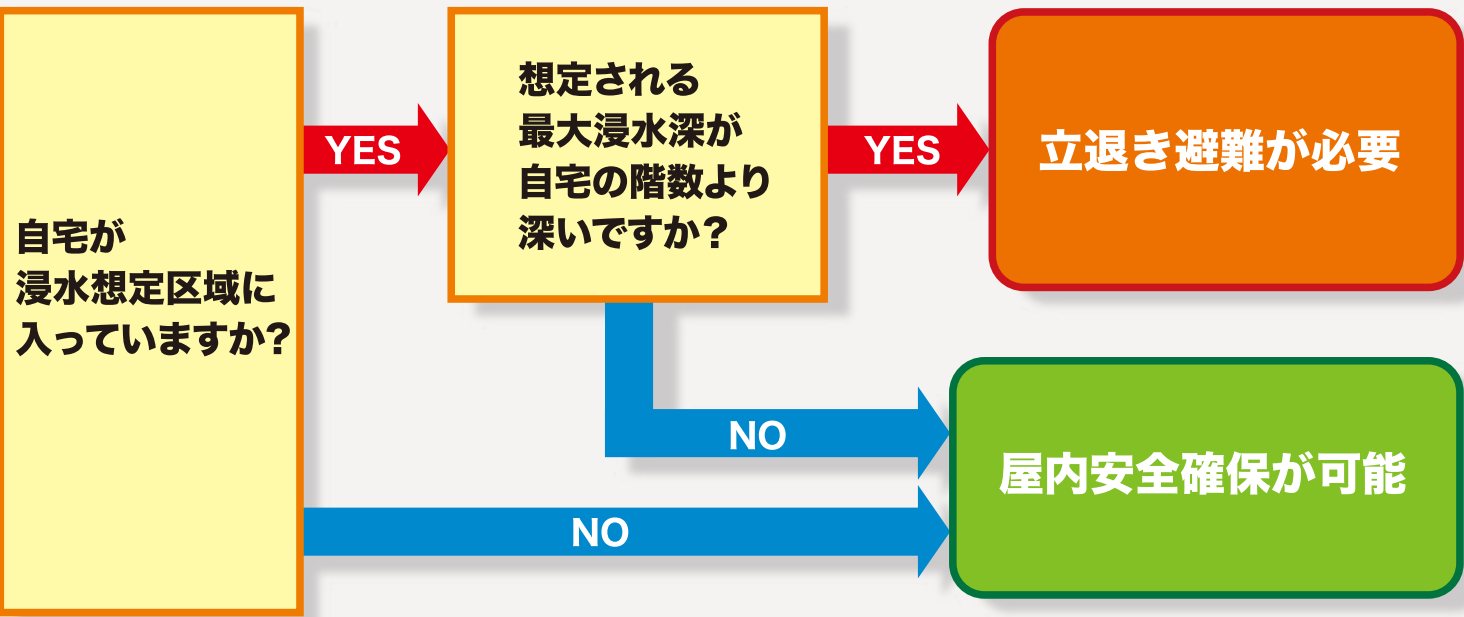
実際に避難するときどこへ避難するのか、危険を感じたらどこへ逃げるのか考えてみましょう。

●風水害に関する情報を収集し、危険を感じたり、避難情報を入力したらわが家は、
☐自宅に待機し、状況に応じて垂直避難します。
(※むやみに外出せず、情報収集に努める) 移動時間: _____

●水平避難の途中で危険を感じたら、 _____ へ緊急的に垂直避難します。
移動時間: _____

※近隣の頑丈な建物など、より安全な場所へ避難しましょう。
外水氾濫、土砂災害は同時に発生する可能性がありますので、他のハザードマップも合わせて確認しておきましょう。

わが家の避難行動を確認しましょう。



災害情報の入手先

市では、テレビ・ラジオ・インターネットなどを通じて防災・災害情報、気象情報を発信しています。積極的な情報を入手し、「早めの避難」「落ち着いた行動」を心がけましょう。

●伊勢原市ホームページ
災害情報をお知らせします。同時アクセスが集中しても情報提供できる災害モード機能を搭載しています。

●防災行政用無線(防災いせはら)
防災情報を迅速かつ的確に伝達するための放送設備です。放送内容はくらし安心メールでも確認することができます。

●消防テレホンサービス
0463-93-3555 (利用には通話料がかかります)
防災行政用無線が聞き取りにくい、または聞こえない場合は、放送した内容を確認することができます。

●伊勢原市公式SNS
Twitter アカウント @isehara_city
Facebook アカウント @iseharacity

●国・県の提供する情報
気象庁「防災情報」
天気予報や気象の警報・注意報、台風情報のほか、災害情報を配信しています。
<https://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>
いせはら雨量観測マップ
市が設置する4カ所の雨量計の雨量情報を、リアルタイムで確認することができます。
観測地点：消防署(本署)、大山、善渡、成瀬中学校
<http://uryo-kansoku.co-site.net/>

●くらし安心メール
気象情報や避難情報をメールで配信します。(事前登録制)
<https://sa-smart-igov.jp/user/manage/iseharaansin>

●避難所情報(VACAN)
伊勢原市の避難所の状況をリアルタイムで確認することができます。
<https://vacan.com/area/isehara-city-evacuation/evacuation-center/12>

●アラート(災害情報共有システム)
市は、避難情報をテレビ・ラジオ等の放送事業者を通じて提供します。

●ラジオ放送
災害時には、市からの緊急情報も放送します。
・FM湘南ナバワ(78.3MHz) ・FMヨコハマ(84.7MHz)

神奈川県 雨量水位情報
神奈川県内の雨量水位の情報を配信します。
http://www.pref.kanagawa.jp/sys/suibou/web_general/suibou_joho/
国土交通省 京浜河川事務所
所管する相模川・多摩川・鶴見川などの情報を配信します。
<https://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>
国土交通省「防災情報提供センター」
国土交通省が保有する防災情報を集約して、わかりやすく提供しています。
<https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>

非常持ち出し品

非常持ち出し品(例)

携帯ラジオ(防災ラジオ)	懐中電灯・予備の乾電池	飲料水	スプーン・はし・カップ	缶(ホイッスル)	非常食(3日分)	ナイフ	ティッシュペーパー・トイレットペーパー
ライター・マッチ	簡易トイレ	生理用品	手ぶくろ	マスク	下着・くつ下	救急薬品・常備薬	現金(硬貨も)
タオル	保険証・免許証・通帳のコピー	筆記用具・ノート(油性マジックなど)	雨具	毛布又は寝袋	リュックサック	ヘルメット・防災頭巾	ビニール袋

備蓄品(例)

ローリングストック法(回転備蓄)

日常使う食料や非常用の食料品を、消費しながら備蓄していく方法。また、古いものから先に使うように収納を工夫すると上手に循環できます。飲料水などは、備蓄していきます。

食品の一部

レトルト食品、缶詰、インスタントラーメン、パスタ類、調味料、乾物、根菜類(常備で保存できる野菜)、フリーズドライの野菜、ドライフルーツなど

食べたら 買い足す

日頃から備える—マイ・タイムライン

①安全な避難経路の確認を



避難所までの経路(避難経路)は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。

②家の周りの道路側溝や雨水ますの確認を

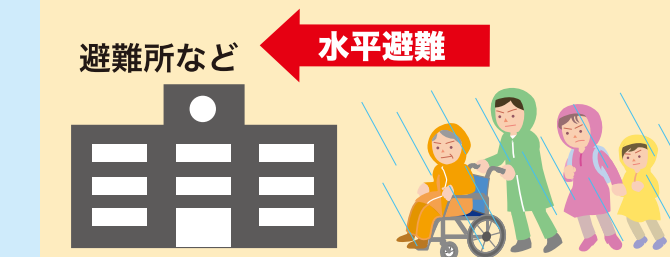


側溝や雨水ますに落ち葉などのゴミが詰まっていると、浸水の原因になります。あらかじめ掃除をしておきましょう。

避難行動とは

避難行動には、自宅外の安全な場所へ移動する「立退き避難(水平避難)」と、自宅の2階など屋内でより安全な場所へ移動する「屋内安全確保(垂直避難)」があり、地域や状況によって避難の方法は異なります。特に、大雨や夜間における避難の場合は、自宅外への避難途中に被害にあう可能性があるため、避難するタイミングに応じて、最も適切な行動をとりましょう。

立退き避難(水平避難)



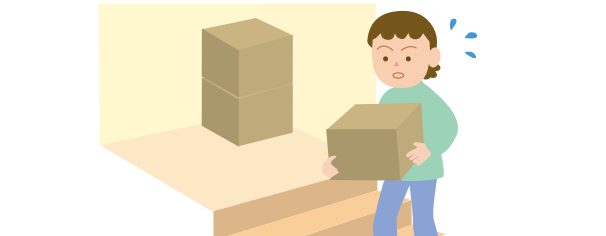
河川の近くや浸水深が大きくなる地域、土砂災害のおそれのある地域など、そこにいることが危険な場合は、避難所などへ立退き避難をしましょう。立退き避難(水平避難)は災害が発生する前に行うことが原則です。

③非常持ち出し品の事前準備を



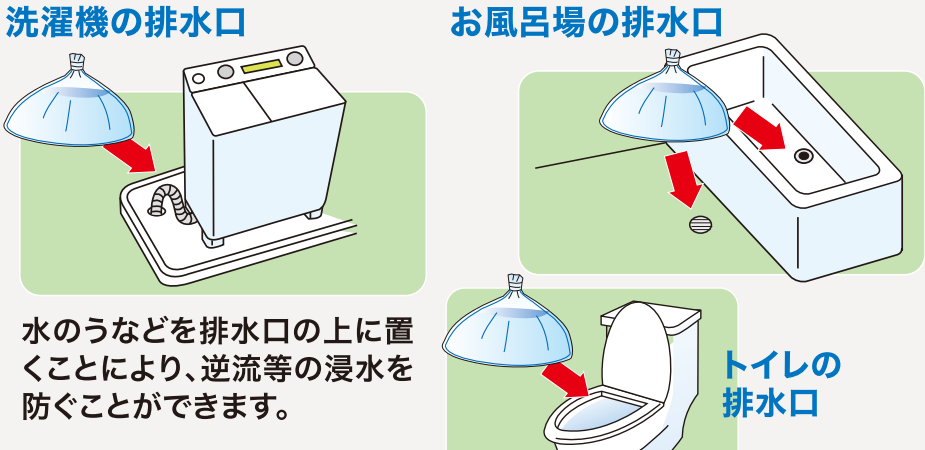
避難するときの荷物は必要最低限とし、事前に準備しておきましょう。

④家の中の浸水に備えて



床上浸水のおそれがある場合は、大切な家財道具を2階や高い安全な場所へ移動させておきましょう。

排水口等からの浸水を防ごう



床下収納



台風などの風水害やそれに伴う土砂災害は、あらかじめ予測できる災害です。災害から命を守るために、あなたや家族が状況に応じた避難ができるよう、事前に確認しておきましょう。

台風発生

かなり大型の台風みたいだ。うちは川が近くだから心配だな。

台風に備えて、事前にやるべきことを確認しておこう。

台風接近

このままじゃ、台風が直撃だな。自主避難を考えなくては。

「高齢者等避難」が発令された。まだ雨は強く降ってないし、うちはおじいちゃんもいるから、今のうちに避難を開始しよう!

台風直撃

無事避難できてよかった!伊勢原市内では川の氾濫や土砂災害が発生しているみたいだな。

情報の収集

- テレビ等で天気予報を確認
- インターネットで気象情報を確認

身の回りの確認

- ハザードマップで家などの災害リスクや、避難所、避難経路を確認
- 防災グッズや家族の必要な物を準備(不足があれば買い出しへ)
- 家族全員の今後の予定を確認(遠出する予定がある場合はキャンセルも検討)

安全確保、避難準備

- 家の浸水しそうな所には土のうを設置
- 家の周りの側溝を掃除
- 家の周りの風で飛ばされそうなものを片付ける
- 1階が浸水するおそれがある場合は家財を2階にあげる
- 携帯電話の充電

避難開始

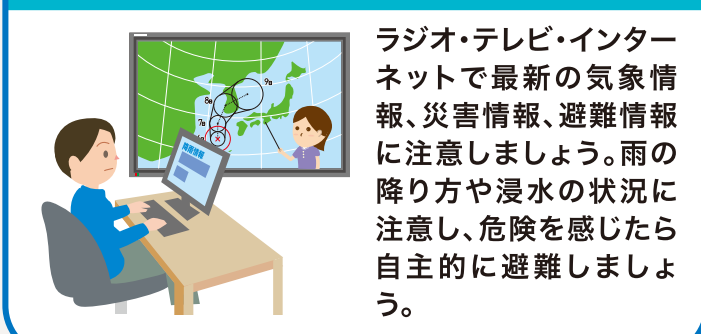
- テレビ、インターネットで河川の水位情報や気象情報に注意
- 伊勢原市からの避難情報に注意
- あらかじめ決めていた避難経路を通り、避難所に避難を開始
- 夜間ではなく明るいうちに避難を開始

避難生活

- 避難所に着いてからも、ラジオや携帯電話から情報を収集
- 雨が止んだからといってすぐに帰宅するのではなく、周囲や川の水位の情報を注意

避難時の心得

①正確な情報収集と自主的な避難を



ラジオ・テレビ・インターネットで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

③避難の呼びかけに注意を



危険が迫ったときには、市や消防団から避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。

②お年寄りなどの避難に協力を



お年寄りや子供、持病のある方は、早めの避難が必要です。近所のお年寄りや子供、持病のある方などの避難に協力しましょう。

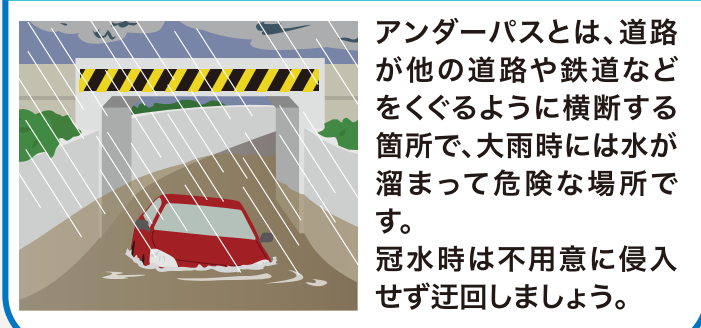
④動きやすい格好、2人以上での避難



避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での行動を心がけましょう。

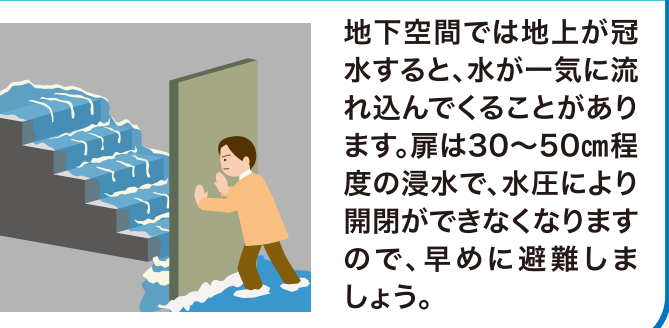
危険箇所に注意

①アンダーパスに注意



アンダーパスとは、道路が他の道路や鉄道などをくぐるように横断する箇所です。大雨時には水が溜まって危険な場所です。冠水時は不用意に侵入せず迂回しましょう。

③地下について



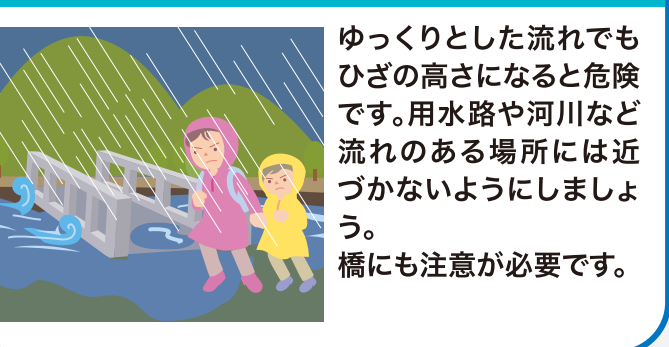
地下空間では地上が冠水すると、水が一気に流れ込んでくる場合があります。扉は30～50cm程度の浸水で、水圧により開閉ができなくなりますので、早めに避難しましょう。

②浸水している場所は注意が必要



浸水している場所は側溝やマンホールのふたが外れた箇所などに転落するおそれがあり危険です。長い棒などで確認しながら歩きましょう。

④流れのある場所へは近づかない



ゆっくりとした流れでもひざの高さになると危険です。用水路や河川など流れのある場所には近づかないようにしましょう。橋にも注意が必要です。